

日本民俗学会第68回年会
「民俗学とく地域活性化」

プログラム

2016年10月1日（土）・2日（日）・3日（月）

千葉商科大学

目次

日程	2
会場	2
共催	2
交通案内	3
アクセス	
主要駅から会場までの道順	
会場配置図	4
会場全体配置図	
7号館会場	
4号館会場	
年会参加の皆様へ	7
一般発表の皆様へ	8
一般発表の座長の皆様へ	9
グループ発表の皆様へ	9
公開シンポジウム	10
見学会参加の皆様へ	10
国立歴史民俗博物館第4展示室（民俗）特別開室のお知らせ	11
研究発表タイムテーブル	12
研究発表プログラム	14

日 程

10月1日(土)

- 9:00 ~ 9:30 第30期理事会 (7号館4階742教室)
9:45 ~ 12:00 評議員会 (7号館4階742教室)
12:00 ~ 受付開始 (7号館1階エントランスホール)
13:00 ~ 16:00 公開シンポジウム「民俗学と<地域活性化>」
(7号館地下1階702教室)
趣旨説明 菊池健策(東京文化財研究所客員研究員)
「農村『地域活性化』政策—民俗学と諸学問の対話をめざして—」
山下裕作(熊本大学教授)
「寺と町の運命共同体—成田山門前町のゆくえ—」
鈴木正崇(慶應義塾大学名誉教授)
「遺跡祭りと地域活性—千葉県芝山はにわ祭を中心に—」
櫻井準也(尚美学園大学教授)
コーディネーター 菊池健策
司会 朽木 量(千葉商科大学教授)
16:15 ~ 17:50 研究奨励賞授賞式・会員総会・第31期理事会
(7号館地下1階702教室)
18:10 ~ 20:00 懇親会 (The University DINING)

10月2日(日)

- 9:00 ~ 受付開始 (7号館1階エントランスホール)
9:30 ~ 11:55 研究発表(午前)
11:55 ~ 13:00 昼食(7号館地下1階702教室をご利用ください)
13:00 ~ 16:05 研究発表(午後)

10月3日(月)

- 8:30 ~ 16:25頃 見学会(国立歴史民俗博物館・佐原・香取神宮コース)

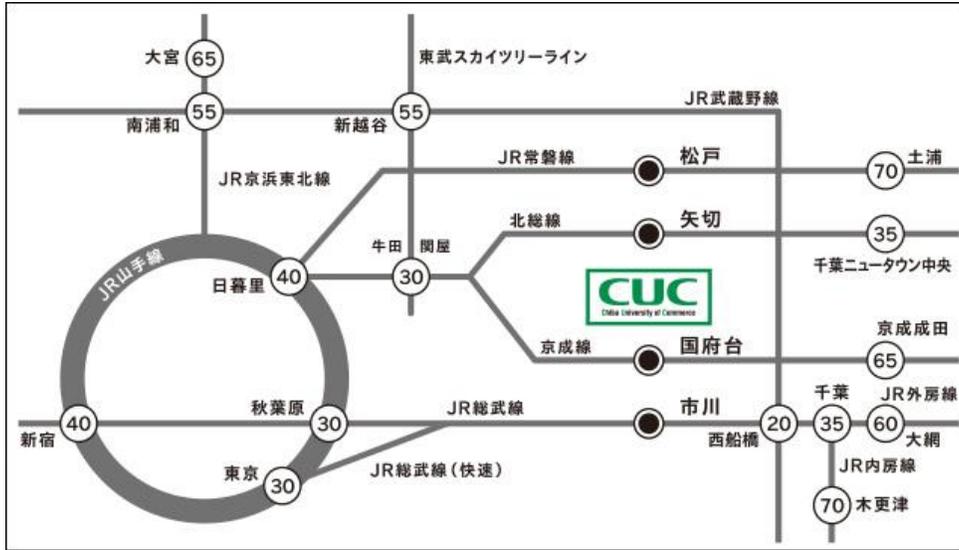
会 場

千葉商科大学 (〒272-8512 千葉県市川市国府台1丁目3番1号)

共 催

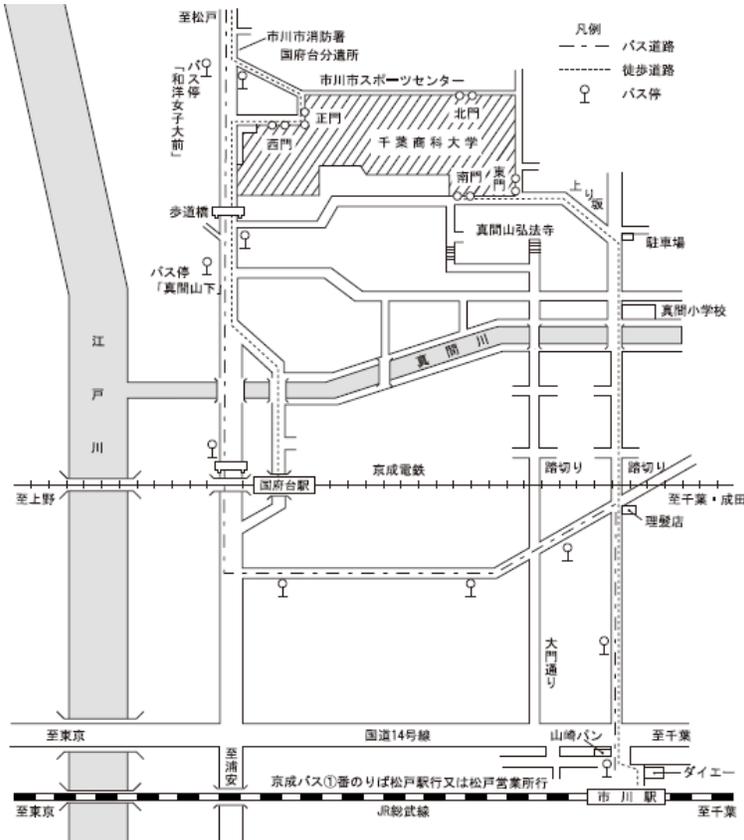
大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国立歴史民俗博物館

■ アクセス

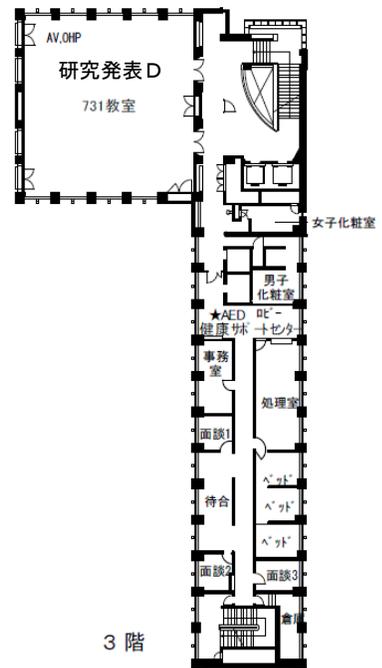
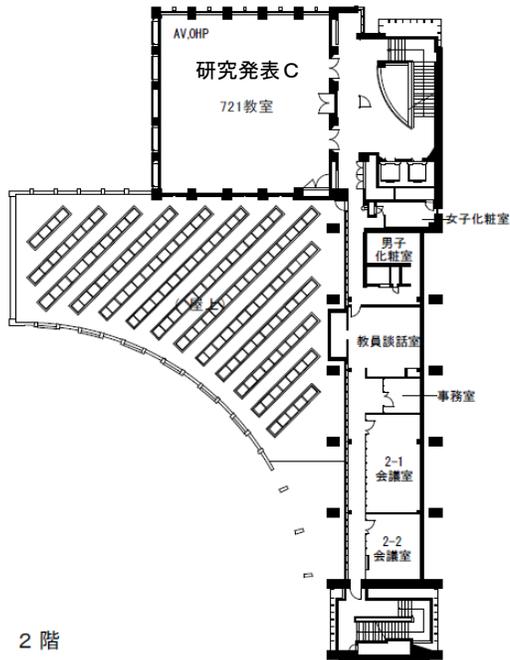
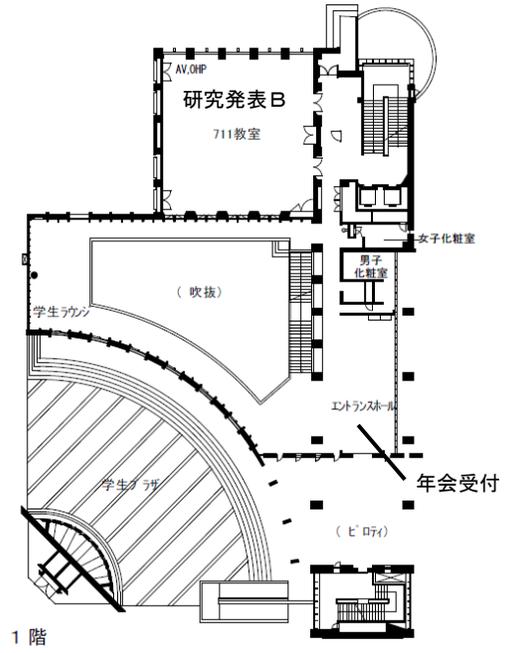
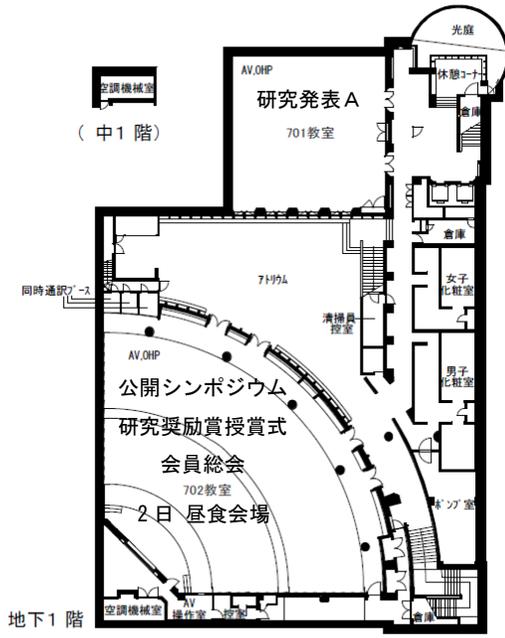


数字は本学までのおおよその所要時間(分) ※乗り換えなどの時間は含まれません。
● 最寄り駅

■ 主要駅から会場までの道順

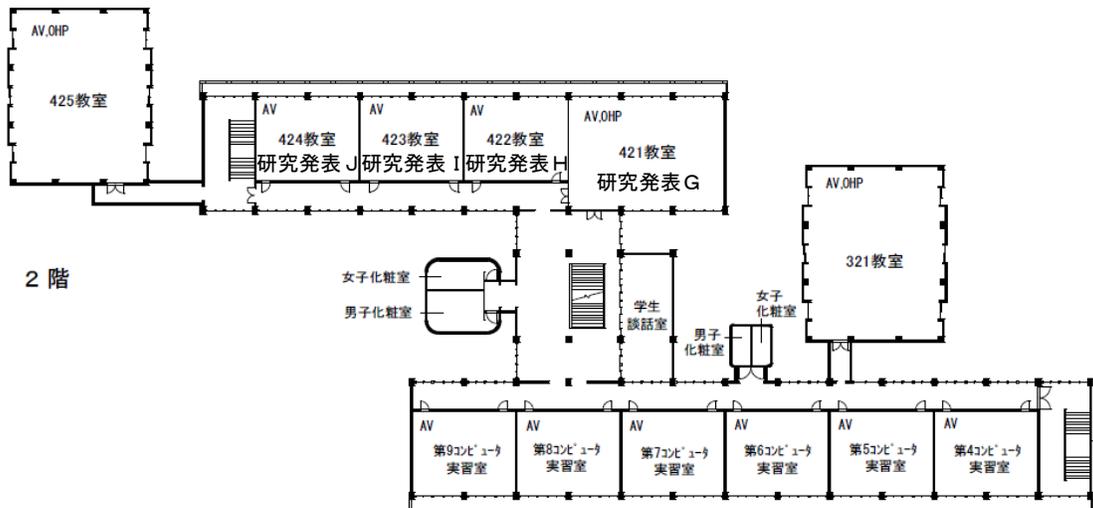
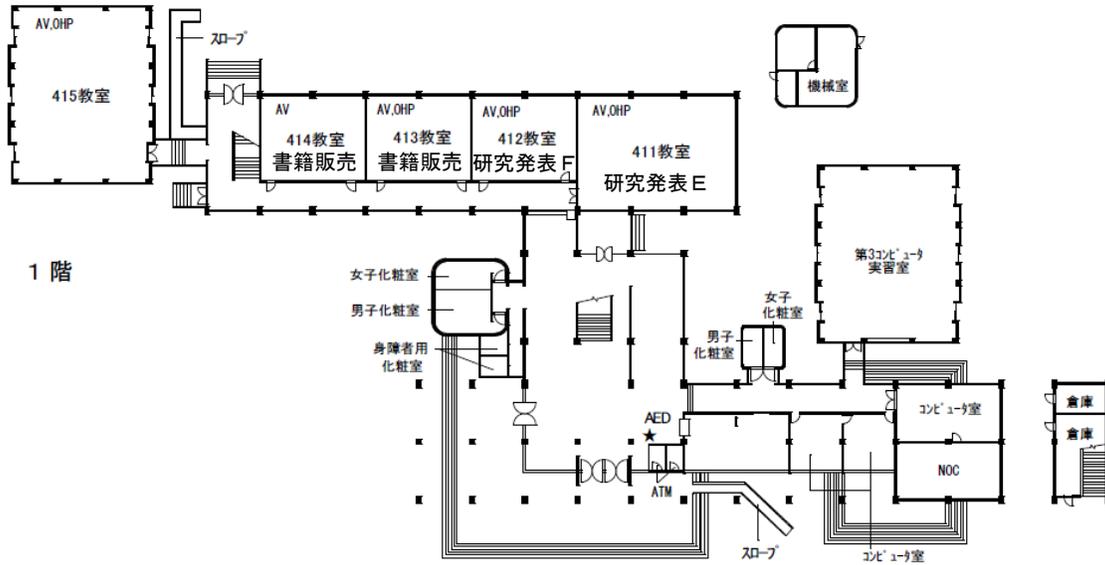


■ 7号館会場



※理事会・評議員会は7号館4階742教室となります。

■ 4号館会場



■会場案内

- 本誌に掲載されている交通案内および会場配置図をご覧ください。
会場は10月1日（土）、2日（日）とも千葉商科大学です。

■受付・総合案内

- 10月1日（土）12：00 ～ 7号館1階エントランスホール
10月2日（日）9：00 ～ 7号館1階エントランスホール
受付で名札、要旨集などの入った封筒をお受け取りください。
- 当日に参加申し込みをされる方は、「当日申し込み受付」にてお申し込みください。当日の参加費用は、年会参加費5,000円、懇親会参加費6,500円（学生4,000円）です。なお、見学会の申込はすでに終了しており、大会当日には受け付けません。
- 年会参加費・懇親会参加費・見学会参加費ともに納入期限は8月17日（水）でした。期日にて振込口座を閉鎖しておりますので、この日までに納入をされなかった参加者の方は、当日に「当日申し込み受付」にてお手続き・当日参加費のお支払いをお願いいたします。
- 一度納入いただいた参加費はいかなる理由があっても返却いたしません。
- 参加登録をしながら、年会参加費・懇親会参加費・見学会参加費を払い込まれずに年会を欠席された場合には、年会終了後に費用を請求させていただきます。やむを得ず参加がかなわなくなった場合、その旨を**9月23日（金）までにE-mailにて年会事務局に必ずご連絡ください**。ご連絡いただいた方につきましては、これらの費用を請求いたしません。

■名札

- 会場では常時、名札をお付けください。
- お帰りの際には、名札を回収箱へお返しください。

■昼食

- 10月2日（日）は、近隣には営業しているレストランはなく、コンビニまでも多少距離がありますので、各自持参をお勧めします。
- 8月17日までにお弁当代金を納入されている方にはお弁当を用意してあります。お弁当は受付の際にお渡しした「弁当引換券」と引き換えに、2日（日）の11:30からお渡しします。昼食は7号館地下1階702教室にてお受け取りください。

■喫煙場所

- 大学内は所定の喫煙場所以外は禁煙となっておりますので、ご協力をお願いいたします。なお、喫煙場所につきましては4ページの会場全体配置図をご覧ください。

■懇親会

- 懇親会は、1日（土）18：10より The University DINING にて行います。
- 懇親会への事前申し込みをされていない方で、当日参加を希望される方は、「当日申し込み受付」にてお申込みください。当日参加費は6,500円（学生4,000円）です。

■書籍販売

- 次の場所で書籍販売を行います。
4号館1階 413教室、414教室
- 販売時間は、1日（土）は12：00～16：30、2日（日）は9：00～16：00です。

■宅配便発送

- 2日（日）の研究発表プログラム終了前後に宅配便発送の受付を行います。
詳細は会場に掲示します。

■実行委員会事務局

- 会場内でご不明な点がございましたら、実行委員・スタッフの名札をつけた者にお尋ねください。実行委員会本部は、7号館1階エントランスホールです。
- 実行委員会のメールアドレス、緊急時の直通電話（当日のみ）は次の通りです。
minzokugaku68@gmail.com 080-5171-6254（年会事務局・朽木）

■その他

- 発表会場内では、必ず携帯電話の電源をお切りください。
- 会場内でのコピー機の利用はできません。当日配布物の必要な場合は前もってご準備をお願いいたします。

一般発表の皆様へ

■発表受付

- 発表者は発表の30分前までに各自の発表会場の会場係にお申し出ください。ただし、午前最初の発表者の方は9：15まで、午後最初の発表者の方は12：45までに会場受付をお済ませください。
- 発表者は、前の発表が始まるまでに発表会場の「次発表者席」に着席のうえ、待機してください。ただし、午前最初の発表者の方は9：20より、午後最初の発表者の方は12：50より待機してください。

■配布資料

- 配布資料の会場内での事前・当日のコピーはできません。必ず事前にご自身で50部を目安にご用意のうえ、発表受付時に会場係にお渡しください。

■発表機材

- 備え付けの機材は、PC（Windows）、PC用液晶プロジェクターです。LANの設備はございません。
- PC（Windows、Mac）の持ち込みも可能です。その場合は、PC本体および対応するアダプターをお持ち込みください。発表の形式によっては、備え付けのPCで対応できない場合があります。2日（日）9：00～9：20、および昼休みに各発表会場で接続確認を行ってください。

■発表時間

- 発表 20 分・質疑応答 5 分・移動 5 分を 1 ユニットとします。
- 発表の際には以下のようにベルで時間をお知らせします。終了時間は厳守ください。
 - 17分経過……………ベル 1 回（発表終了3分前）
 - 20分経過……………ベル 2 回（発表終了）
 - 25分経過……………ベル 3 回（質疑応答終了）
- 発表者や座長の交代、聴講者の移動のため、各発表の間に5分の時間を設けております。次の発表者で機材をご使用の方は、この時間内に速やかに準備を行ってください。なお、この5分間を発表の延長のための時間に用いることはできません。
- 発表者の責任により開始時間が遅れた場合には、定刻の範囲内で発表・質疑応答を行ってください。

■その他

- 事情により、やむを得ず発表できなくなった場合には、必ず実行委員会事務局または受付にお申し出ください。発表者が欠席した場合でも予定の時間割とプログラムにより進行いたします。

一般発表の座長の皆様へ

■受付

- ご担当の発表が始まる30分前までに発表会場の会場係にお申し出ください。発表会場の「次座長席」にご着席ください。ただし、午前最初の座長の方は9：20より、午後最初の座長の方は12：50より待機してください。

■進行

- 上記「発表時間」に記した時間通りにタイムキーパーがベルを鳴らします。このベルを参考にして、発表が時間通りに行われるようご配慮をお願いいたします。
- 各発表の間に設けられた5分間は、発表者の交代や聴講者の移動のための時間で、延長のための時間ではありませんのでご注意ください。
- 進行中に問題が生じた場合は、各発表会場の会場係へお申し付けください。

グループ発表の皆様へ

■発表受付

- 各グループ発表の代表者は、メンバーが揃ったことをご確認のうえ、発表時間の30分前までに発表会場の会場係にお申し出ください。

■発表時間

- 発表の時間枠は、プログラムに記載されている通りとなります。枠内の時間配分は、代表者にお任せいたします。終了時間は厳守してください。

■配布資料・発表機材

- 上記、一般発表と同様です。

公開シンポジウム

地域活性化が叫ばれるようになってから、日常・非日常的を問わず村・町おこしなどが実践されるようになってきた。その一方で、過疎や高齢化により地域の日常生活や社会生活が崩壊しつつある。こうした現代において、持続可能なく地域活性化>につなげていくために、民俗学は何が出来るであろうか。また、中山間地域直接支払制度や歴史まちづくり法といった各種の地域振興政策に対して、民俗学がこれまで十分に対応してこなかったことも挙げられる。地域文化研究の第一線に立つべき民俗学が、<地域活性化>という現代的課題に対してどう向き合うべきかを改めて問い直したい。

テーマ 民俗学と<地域活性化>

日時 2016年10月1日(土) 13:00~16:00

会場 千葉商科大学7号館702教室

パネルディスカッション

開催にあたって

趣旨説明

「民俗学と地域活性化」

菊池健策(東京文化財研究所客員研究員)

パネリスト・演題

「農村『地域活性化』政策—民俗学と諸学問の対話をめざして—」

山下裕作(熊本大学教授)

「寺と町の運命共同体—成田山門前町のゆくえ—」

鈴木正崇(慶應義塾大学名誉教授)

「遺跡祭りと地域活性—千葉県芝山はにわ祭を中心に—」

櫻井準也(尚美学園大学教授)

コーディネーター 菊池健策

司会 朽木 量(千葉商科大学教授)

見学会参加の皆様へ

10月3日(月) 国立歴史民俗博物館と佐原・香取神宮の見学(貸し切りバス使用)

■集合

8:20までにJR市川駅北口(駅前交差点・ソフトバンクショップ前)にご集合ください。

■内容

2013年にリニューアルオープンした国立歴史民俗博物館の民俗展示を見学します。利根川舟運の河岸として栄えた香取市佐原では、風情の残る町並みや建物の他、町内ごとに祀る路地裏の稲荷、国指定重要無形民俗文化財「佐原の大祭」秋祭りを4日後に控えた山車の準備の様子、祭礼の全貌が分かる山車会館の展示などをそれぞれ現地の方々にご案内いただきます。また、同市内の香取神宮も宮司の方の案内で境内をまわります。

■日程

- 8 : 30 ・市川駅出発
- ・移動車中 下総の民俗について解説
- 9 : 40～11 : 00 ・国立歴史民俗博物館 民俗展示見学（展示担当者への質問可）
- ・歴博出発、移動車中にて昼食（房総の「郷土食」太巻き寿司の弁当）
- 12 : 10～12 : 40 ・佐原の町並み見学（ジャージャー橋、伊能忠敬旧宅、いかだ焼き正上、小野川岸、正文堂書店、小堀屋、福新呉服店等）
 （ボランティアガイドの案内）
- 12 : 40～13 : 55 ・福新呉服店店舗奥中庭見学（店主平塚氏の案内にて）
- ・町内稲荷見学〔新橋本区奥津稲荷（稲荷講員の方の案内にて）、新上川岸区稲荷、下分区幸福稲荷、横川岸区開運稲荷（芸者置屋奉納碑）〕
- ・山車倉見学〔下分薬王院観音堂境内山車倉（下分区当役の方の立ち会い）〕
- ・忠敬橋より八坂神社境内の山車会館へ徒歩移動（買い物も可）
- 14 : 00～14 : 25 ・山車会館見学（吉田館長・香取市教育委員会坂本氏の案内）
- 14 : 30 ・市営駐車場より佐原出発
- 14 : 45～15 : 35 ・香取神宮見学（宮司の方の案内）
- ・香取神宮出発
- 16 : 25 ・京成成田駅東口付近到着・解散

国立歴史民俗博物館第4展示室（民俗）特別開室のお知らせ

本年会の開催にあわせ、国立歴史民俗博物館では10月3日（月：休館日）に第4展示室（民俗）の特別開室を実施します。本展示室は施設工事のため、本年10月11日（火）から来年3月31日（金）までの閉室を予定しております。この機会にぜひご覧ください。

特別開室日： 10月3日（月）

開室時間： 10：00～12：00（ただし入館は11：30まで）

入館料： 無料

※当日は展示担当者にご質問いただくことができます。

※アクセス方法等は、国立歴史民俗博物館ウェブサイト (<https://www.rekihaku.ac.jp/>) でご確認ください。

※第4展示室のみの開室となります。他の展示室はご覧いただけませんのでご了承ください。

研究発表タイムテーブル(10月2日)

会場	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場
教室	701教室	711教室	721教室	731教室	411教室
定員	242席	242席	242席	242席	268席
09:30~09:55	A-1 熊華磊	B-1 市田雅崇	C-1 山田厳子	D-1 樋田竜男	E-1 立柳聡
10:00~10:25	A-2 角田武頼	B-2 市川秀之	C-2 宮平盛晃	D-2 松田采菜	E-2 柿本雅美
10:30~10:55	A-3 領塚正浩	B-3 角南聡一郎	C-3 川野和昭	D-3 佐藤喜久一郎	E-3 鈴木英恵
11:00~11:25	A-4 三村宜敬	B-4 菊地暁	C-4 小村純江	D-4 坂本東男	E-4 福寛美
11:30~11:55	A-5 村上忠喜	B-5 伊藤新之輔	C-5 浅野久枝	D-5 小出亜耶子	E-5 阿利よし乃
昼食休憩					
13:00~13:25	A-6 広尾克子	B-6 岡本真生	C-6 岩野笙子	D-6 西川桂史	E-6 岸本昌良
13:30~13:55	A-7 菊田祥子	B-7 鈴木昂太	C-7 石川俊介	D-7 大山晋吾	E-7 田中久美子
14:00~14:25	A-8 清水博之	B-8 高木大祐	C-8 平井倫行	D-8 田村明子	E-8 伊賀みどり
休憩(10分)					
14:35~15:00	A-9 市東真一	B-9 水谷 類 渡部圭一 内田幸彦 金子祥之 (~16:05)	C-9 君島彩子	D-9 熊澤美弓	E-9 古谷野洋子
15:05~15:30	A-10 三隅貴史		C-10 宇野功一	D-10 黛友明	E-10 下田雄次
15:35~16:00	A-11 矢島妙子		C-11 福田直子	D-11 小畑紘一	E-11 村田典生

会 場	F 会場	G 会場	H 会場	I 会場	J 会場
教 室	412 教室	421 教室	422 教室	423 教室	424 教室
定 員	109 席	268 席	109 席	109 席	109 席
09:30～09:55	F-1 菱川晶子	G-1 永松敦	H-1 杉山是清	I-1 由谷裕哉	J-1 丁田隆
10:00～10:25	F-2 北村規子	G-2 石本敏也	H-2 山川志典	I-2 河野眞	J-2 林貝貝
10:30～10:55	F-3 山田祐紀	G-3 荒一能	H-3 弓削淳一	I-3 クリスチャン・ゲラット	J-3 程亮
11:00～11:25	F-4 飯島康夫	G-4 野口憲一	H-4 清水享桐	I-4 鈴木寛之	J-4 胥悦
11:30～11:55	F-5 松本博明	G-5 玄蕃充子	H-5 楠瀬慶太	I-5 中野洋平	J-5 今石みぎわ
昼食休憩					
13:00～13:25	F-6 伊藤純 神田より子 宮坂清 (～14:30)	G-6 秋山笑子	H-6 鈴木章生	I-6 竹田和夫	J-6 東出紘明
13:30～13:55		G-7 真柄侑	H-7 橋本章	I-7 林承緯	J-7 木原実咲
14:00～14:25		G-8 宇仁義和	H-8 小笠原 輝	I-8 小池淳一	J-8 桜木真理子
休憩(10分)					
14:35～15:00	F-7 猿渡土貴 中嶋奈津子 久保田滋子 (～16:05)	G-9 渡部鮎美	H-9 塚原伸治	I-9 関口知誠 三代綾 小野寺節子 星野紘 (～16:05)	J-9 岡田伊代 今野大輔 高木まどか 辻本侑生 (～16:05)
15:05～15:30		G-10 岡本健作	H-10 守屋和彦		
15:35～16:00			H-11 中葉博文		

研究発表プログラム(10月2日)

■ A会場 701教室 (定員 242席)

- A-1 9:30 ~ 9:55 熊華磊 (鹿児島大学人文社会科学部)
「恣意的」・「現実的」な民俗伝承
—鹿児島県伊佐市大口平出水中央集落における「最勝講」に関する覚書—
- A-2 10:00 ~ 10:25 角田武頼 (神奈川県民俗芸能保存協会)
六斎・百万遍・大念仏一甲州系の念仏行事に見られる呼称にまつわる諸問題—
- A-3 10:30 ~ 10:55 領塚正浩 (市立市川考古博物館)
火打道具と切り火の習俗に関する民俗調査—東京都北区の事例を中心として—
- A-4 11:00 ~ 11:25 三村宜敬 (市立市川歴史博物館)
寺社における火打ち具の使用—市川市と近郊の事例—
- A-5 11:30 ~ 11:55 村上忠喜 (京都府/京都市歴史資料館)
京都の地蔵盆について—京都市全域アンケート結果報告及び予備的考察—

昼食休憩

- A-6 13:00 ~ 13:25 広尾克子 (関西学院大学大学院)
現代の魚類供養—カニ供養の事例より—
- A-7 13:30 ~ 13:55 菊田祥子 (成城大学大学院)
女が創る祭の見せ場—千葉県匝瑳市八日市場・八重垣神社祇園祭を事例として—
- A-8 14:00 ~ 14:25 清水博之 (茨城キリスト教大学兼任講師)
山・鉾・屋台行事における保存・継承の本質と変容—日立・秩父・高岡の事例から—
- A-9 14:35 ~ 15:00 市東真一 (神奈川大学大学院生)
熊谷うちわ祭における鳶職の役割変化の研究—鳶職の上演行為を中心に—
- A-10 15:05 ~ 15:30 三隅貴史 (関西学院大学大学院)
東京の都市祭礼における「江戸前」の創造—神輿会に着目して—
- A-11 15:35 ~ 16:00 矢島妙子 (明治大学 法と社会科学研究所)
「都市の伝承母体」考—「YOSAKOIソーラン祭り」参加集団の変遷から—

■ B会場 711 教室 (定員 242 席)

- B-1 9:30 ~ 9:55 市田雅崇 (国土館大学非常勤講師)
「伝統」儀礼の文化財化と地域社会—能登の鶉祭を事例として—
- B-2 10:00 ~ 10:25 市川秀之 (滋賀県立大学)
奈良県下における近代遥拝所碑とその儀礼
- B-3 10:30 ~ 10:55 角南聡一郎 ((公財) 元興寺文化財研究所)
タグリ神の研究—石造品の領有に注目して—
- B-4 11:00 ~ 11:25 菊地暁 (京都大学)
小鳥居のショート・ストーリー
- B-5 11:30 ~ 11:55 伊藤新之輔 (國學院大學大学院)
卯月八日と死霊祭祀

昼食休憩

- B-6 13:00 ~ 13:25 岡本真生 (関西学院大学大学院)
「残念さん」信仰—幕末維新期に発生した流行神をめぐる—
- B-7 13:30 ~ 13:55 鈴木昂太 (総合研究大学院大学後期博士課程)
備北地方の地祭—執行記録『地祭明細帳』の分析を中心に—
- B-8 14:00 ~ 14:25 高木大祐 (千葉県)
愛知県瀬戸の陶磁器工業と職祖信仰
- B-9 14:35 ~ 16:05 **グループ発表 代表・水谷類** (明治大学文学部非常勤講師)
オビシヤ文書の発見—関東近世村落とオビシヤ研究の可能性—
水谷類 (明治大学文学部非常勤講師)
オビシヤは宮座か—慶長期のオビシヤ文書発見から考える—
渡部圭 (滋賀県琵琶湖博物館)
関東の近世村落における宮座とオビシヤ儀礼
内田幸彦 (埼玉県立歴史と民俗の博物館)
オビシヤの多様性とオビシヤ文書—埼玉県の事例から—
金子祥之 (日本学術振興会特別研究員 PD・立教大学)
市川市内のオビシヤ行事とオビシヤ文書

■ C会場 721 教室 (定員 242 席)

- C-1 9:30 ~ 9:55 **山田巖子** (弘前大学)
オシラ神信仰と「知識」—「個人的なるもの」をめぐって—
- C-2 10:00 ~ 10:25 **宮平盛晃** (沖縄県)
鶏という供物と供犠—琉球諸島における土帝君祭りと韃祭りを事例に—
- C-3 10:30 ~ 10:55 **川野和昭** (鹿児島県)
稲魂の継承 2—子を産む稲の母—
- C-4 11:00 ~ 11:25 **小村純江** (神奈川大学大学院生)
氏神として伝わる妙見—東京都稲城市百村 (もむら) の「妙見尊」行事から—
- C-5 11:30 ~ 11:55 **浅野久枝** (京都精華大学非常勤講師)
「年忌明けの仏が無縁仏となる」民俗について

昼食休憩

- C-6 13:00 ~ 13:25 **岩野笙子** (新潟県)
あごなし地藏信仰復活の軌跡
- C-7 13:30 ~ 13:55 **石川俊介** (長野県)
元綱は見た目が命?—曳き綱製作から見る御柱祭—
- C-8 14:00 ~ 14:25 **平井倫行** (相州真鶴 貴船神社 権禰宜)
福神信仰における価値循環
—神奈川県真鶴町国指定重要無形民俗文化財「貴船まつり」と宝船絵の呪的機能を中心に—
- C-9 14:35 ~ 15:00 **君島彩子** (総合研究大学院大学)
大型観音像の変容と平和のイメージ
- C-10 15:05 ~ 15:30 **宇野功一** (千葉県)
儀礼の定義と類型
- C-11 15:35 ~ 16:00 **福田直子** (東京都)
歯痛治癒祈願の民俗について

■ D会場 731 教室 (定員 242 席)

- D-1 9:30 ~ 9:55 樋田竜男 (たかやまそふと)
盟神探湯の断熱的回避策—その痕跡と民俗学的考察—
- D-2 10:00 ~ 10:25 松田采菜 (秋田県)
蜘蛛の民俗と文芸
- D-3 10:30 ~ 10:55 佐藤喜久一郎 (NPO 法人 ひつじ大学 群馬)
どのようにして羊太夫になるか—伝説を生きる人々—
- D-4 11:00 ~ 11:25 坂本東男 (高知工科大学)
那須与—一族の知られざる恋と生涯 (前) (小太郎宗治・鬼山御前と大八郎宗久・鶴富姫)
- D-5 11:30 ~ 11:55 小出亜耶子 (北海道大学大学院)
鎌鼬の理解についての考察

昼食休憩

- D-6 13:00 ~ 13:25 西川桂史 (明治大学大学院)
養蚕民俗を再生産するムラと村
—群馬県利根郡川場村大字門前に伝わる春駒を事例として—
- D-7 13:30 ~ 13:55 大山晋吾 (宮崎県)
南九州の「神舞」の演目構成
- D-8 14:00 ~ 14:25 田村明子 (成城大学)
芸能者集団にみる互助関係—江戸里神楽を事例として—
- D-9 14:35 ~ 15:00 熊澤美弓 (豊橋技術科学大学非常勤講師)
白澤避怪図を広める人々
- D-10 15:05 ~ 15:30 黛友明 (大阪大学大学院)
民俗芸能と日常生活—伊勢大神楽の実践と語り—
- D-11 15:35 ~ 16:00 小畑紘一 (インディペンデント・フォークロリスト)
祭礼行事柱松の類型—和歌森太郎の類型との比較—

■ E会場 411 教室 (定員 268 席)

- E-1 9:30 ~ 9:55 **立柳聡** (福島県立医科大学)
夫婦養子慣行の背景と機能—山梨県東端部山間農村の事例に基づく考察—
- E-2 10:00 ~ 10:25 **柿本雅美** (佛教大学宗教文化ミュージアム)
「家の名」の名付け—近世～近代初頭を中心に—
- E-3 10:30 ~ 10:55 **鈴木英恵** (群馬県)
福を招く図像—群馬県南西部山間地域における子どもの正月行事と役割—
- E-4 11:00 ~ 11:25 **福寛美** (法政大学沖縄文化研究所)
少年達のシャーマニズム
- E-5 11:30 ~ 11:55 **阿利よし乃** (沖縄県)
女性神役継承の二つの形—沖縄県石垣島登野城の事例—

昼食休憩

- E-6 13:00 ~ 13:25 **岸本昌良** (東京都品川区)
青年団と日本民俗学
- E-7 13:30 ~ 13:55 **田中久美子** (福岡工業大学)
結婚を希望する独身者と仲人はどのようにしてつながるのか
- E-8 14:00 ~ 14:25 **伊賀みどり** (帝京平成大学非常勤講師)
経済的弱者に対する避妊指導—間宮うら氏の家族計画特別普及事業—
- E-9 14:35 ~ 15:00 **古谷野洋子** (神奈川大学日本常民文化研究所)
葬儀の外部化における「自葬」の伝統—沖縄県八重山諸島波照間島の事例から—
- E-10 15:05 ~ 15:30 **下田雄次** (青森県)
民俗芸能の復興と地域的・社会的文脈
—青森県上北郡七戸町 (旧天間林村) 上原子集落に伝わる盆踊りの復元・復興の取り組みを事例として—
- E-11 15:35 ~ 16:00 **村田典生** (佛教大学)
安楽往生の願い—奈良県の傘堂を事例として—

■ F会場 412 教室 (定員 109 席)

- F-1 9:30 ~ 9:55 菱川晶子 (愛知大学非常勤講師)
温泉発見伝説と動物—岐阜県平湯温泉の場合—
- F-2 10:00 ~ 10:25 北村規子 (國學院大學大学院)
津波の語り—沖縄 白保における「津波と人魚」の伝説をめぐって—
- F-3 10:30 ~ 10:55 山田祐紀 (新潟大学大学院)
低湿地帯のアゼにみる稲作儀礼の形態—新潟県西蒲原郡遠藤を対象として—
- F-4 11:00 ~ 11:25 飯島康夫 (新潟大学)
水利秩序と村落の祭祀—群馬県利根郡みなかみ町後閑の獅子舞奉納をめぐって—
- F-5 11:30 ~ 11:55 松本博明 (岩手県立大学盛岡短期大学部)
岩手県下閉伊郡山田町石碑悉皆調査から見えてきたもの

昼食休憩

- F-6 13:00 ~ 14:30 グループ発表 代表・神田より子 (敬和学園大学)
宮古市東日本大震災の記憶を記録する 1
伊藤純 (早稲田大学人間総合研究センター招聘研究員)
「津波田老」を語る人とモノ
神田より子 (新潟県 敬和学園大学)
自治会長の憂鬱—大規模避難施設を支えて—
宮坂清 (名古屋学院大学法学部)
防潮水門に注がれる両義的まなざし—宮古湾奥部地域の調査より—
- F-7 14:35 ~ 16:05 グループ発表 代表・猿渡土貴 (江戸川大学非常勤講師)
宮古市東日本大震災の記憶を記録する 2
猿渡土貴 (江戸川大学非常勤講師)
子供の命を守る取り組み
中嶋奈津子 (岩手県)
支援者を支える—医療の現場から—
久保田滋子 (千葉商科大学非常勤講師)
長期支援のさまざまなあり方—ボランティア活動の「その後」を追う—

■ G会場 421 教室 (定員 268 席)

- G-1 9:30 ~ 9:55 永松敦 (宮崎公立大学)
在来野菜・伝統野菜ブームと民俗学—生産者の文化は守られるのか?—
- G-2 10:00 ~ 10:25 石本敏也 (茨城県)
地すべり区域の棚田稲作—新潟県十日町市—
- G-3 10:30 ~ 10:55 荒一能 (成城大学大学院)
種子流通に関する一考察—江戸川区における小松菜の F1 品種化を事例に—
- G-4 11:00 ~ 11:25 野口憲一 (日本大学)
「科学的農業」における人間性
—コンピューター管理によるイチゴの溶液栽培の事例から—
- G-5 11:30 ~ 11:55 玄蕃充子 (成城大学大学院)
転飼養蜂家の経営戦略—養蜂業の存立構造の把握に向けて—

昼食休憩

- G-6 13:00 ~ 13:25 秋山笑子 (千葉県立美術館)
千葉県浦安地域における開発と生業—都市近郊の海付きの低湿地における生活戦略—
- G-7 13:30 ~ 13:55 真柄侑 (東北学院大学大学院)
「産直」から自給は考えられるのか—岩手県紫波郡紫波町片寄を事例に—
- G-8 14:00 ~ 14:25 宇仁義和 (東京農業大学オホーツクキャンパス)
近代の大型沿岸捕鯨の記憶伝承
- G-9 14:35 ~ 15:00 渡部鮎美 (神奈川大学・日本学術振興会特別研究員 (PD))
多様なアクターによる山菜の価値の変容
—新潟県十日町市松代・松之山の観光化と地域開発を事例に—
- G-10 15:05 ~ 15:30 岡本健作 (関西学院大学大学院)
鉄道労働者の民俗誌—Occupational Folklore の視点から—

■ H会場 422 教室 (定員 109 席)

- H-1 9:30 ~ 9:55 杉山是清 (一般社団法人文化国家日本研究所)
実践民俗学者の覚悟—岐阜県高山市高根町日和田と二風谷を事例として—
- H-2 10:00 ~ 10:25 山川志典 (筑波大学大学院人間総合科学研究科)
遠野遺産認定制度にみる行政と住民の関係性
- H-3 10:30 ~ 10:55 弓削淳一 (福岡県)
北部九州における「苧萱・石堂丸物語」の近現代的展開
—玖珠町の親子地蔵と水城尋常高等小学校の郷土読本を事例として—
- H-4 11:00 ~ 11:25 清水享桐 (中村塾講師)
調布市布田 常性寺の調布不動尊
—民俗的事象の観光利用による地域活性化 調布市染地、川崎市多摩区東生田、
伊勢原市日向との比較分析も兼ねて—
- H-5 11:30 ~ 11:55 楠瀬慶太 (高知新聞社)
地域づくりにおける歴史民俗分野の重要性—高知県における実践事例から—

昼食休憩

- H-6 13:00 ~ 13:25 鈴木章生 (目白大学)
地場産業を活かした協働型地域イベントの形成と課題
—新宿区落合・中井の「染の小道」から—
- H-7 13:30 ~ 13:55 橋本章 (京都文化博物館)
戦国武将の事績による地域活性化の是非—近江・石田三成の事例から—
- H-8 14:00 ~ 14:25 小笠原輝 (山梨県富士山科学研究所)
山梨県の山間地集落における定住について
- H-9 14:35 ~ 15:00 塚原伸治 (茨城大学)
商店街の誕生と終焉—地方都市商店街の 100 年—
- H-10 15:05 ~ 15:30 守屋和彦 (國學院大學大学院)
新しいコミュニティに於ける—考察—多文化共生の視点で—
- H-11 15:35 ~ 16:00 中葉博文 (富山県民生涯学習カレッジ砺波地区センター)
コミュニティバスにおける「バス停名」の名づけ方
—富山県氷見市・小矢部市・砺波市を例に—

■ I 会場 423 教室 (定員 109 席)

- I-1 9:30 ~ 9:55 由谷裕哉 (小松短期大学)
小田内通敏の郷土研究の再検討—『総合郷土研究』に注目して—
- I-2 10:00 ~ 10:25 河野眞 (愛知大学)
結衆の原理を現代にさぐる
—ドイツ民俗学における組合 (クラブ) への注目を参考にして—
- I-3 10:30 ~ 10:55 クリスチャン・ゲーラット (ミュンヘン大学)
比較文化研究の立場から見る「産神問答」と運命譚
- I-4 11:00 ~ 11:25 鈴木寛之 (熊本県)
家庭とケーキ—民俗学と幸福観—
- I-5 11:30 ~ 11:55 中野洋平 (島根大学地域未来戦略センター)
学部横断的な地域志向教育における民俗学知の活用
—島根大学 COC 人材育成コースの事例から—

昼食休憩

- I-6 13:00 ~ 13:25 竹田和夫 (新潟県立新発田高校)
教育から見た民俗学—民俗学の教育接続の必要性和高校倫理における授業実践—
- I-7 13:30 ~ 13:55 林承緯 (国立台北芸術大学)
学問としての「台湾民俗学」の構築とその呪縛
- I-8 14:00 ~ 14:25 小池淳一 (東京都)
地域史研究における民俗の位置—青森県を中心に—
- I-9 14:35 ~ 16:05 **グループ発表 代表・関口知誠** (神奈川大学大学院生)
教育と民俗学—現在の問題点から—
関口知誠 (神奈川大学大学院生)
民俗芸能は、いかにして教育と連携するか
三代綾 (國學院大學大学院)
民俗事象と博物館教育
小野寺節子 (國學院大學)
民俗学と音楽教育—幼児教育を視野に入れて—
コメンテーター 星野紘 (東京文化財研究所)

■ J会場 424 教室 (定員 109 席)

- J-1 9:30 ~ 9:55 **丁田隆** (韓国・昌原大学)
禁止された民俗—1970年代濟州島の弊習追放運動をめぐって—
- J-2 10:00 ~ 10:25 **林貝貝** (国学院大学大学院)
現代中国農村の婚礼過程における贈答について—浙江省毛頭村事例として—
- J-3 10:30 ~ 10:55 **程亮** (神奈川大学大学院博士後期課程)
邪症治療と狐仙信仰—中国湖北省丹江口市農村社会の事例を中心に—
- J-4 11:00 ~ 11:25 **胥悦** (國學院大學大学院)
伝統住居における空間配置と民俗文化—大理喜洲村を例として—
- J-5 11:30 ~ 11:55 **今石みぎわ** (東京文化財研究所)
明治期の奉納イナウにみる和人とアイヌの文化交渉について

昼食休憩

- J-6 13:00 ~ 13:25 **東出紘明** (國學院大學大学院)
北海道移民における祭礼研究—沼田町、津沢の「夜高あんどん」の比較—
- J-7 13:30 ~ 13:55 **木原実咲** (熊本大学大学院)
馬肉解体の技術と慣行—熊本市内の事例から—
- J-8 14:00 ~ 14:25 **桜木真理子** (筑波大学)
「共有」される病気、されない病気
—ハンセン病療養所における知識の重なりとずれをめぐって—
- J-9 14:35 ~ 16:05 **グループ発表 代表・今野大輔** (成城大学民俗学研究所)
「差別」に向き合う民俗学
岡田伊代 (成城大学大学院文学研究科)
製鞣革業従事者の生活史研究の再検討
—東京都墨田区A地区のなめし革生産の事例から—
今野大輔 (成城大学民俗学研究所)
民俗学と差別の研究
高木まどか (成城大学大学院文学研究科)
きらわれる客—近世遊郭における客・遊女・店の関係性の分析から—
辻本侑生 (民間企業勤務)
現代日本の村落社会における性的マイノリティ

日本民俗学会第68回年会実行委員会

学会会長 小熊 誠

実行委員長 常光 徹

実行委員 榎美香 小野寺節子 金子祥之 菊池健策 朽木量
 小島孝夫 菅根幸裕 常光徹 根岸英之 松田睦彦
 水谷類 ムズラックル・ハリト 米屋陽一

事務局長 朽木 量

事務局 鈴木羽留香 濱野和人

一般社団法人日本民俗学会第68回年会実行委員会
千葉商科大学政策情報学部 朽木量 (S406) 研究室 気付
〒272-8512 千葉県市川市国府台1丁目3番1号
TEL 047-373-9914 (研究室直通)
E-mail minzokugaku68@gmail.com
URL <http://www.nenkai.fsjnet.jp>